

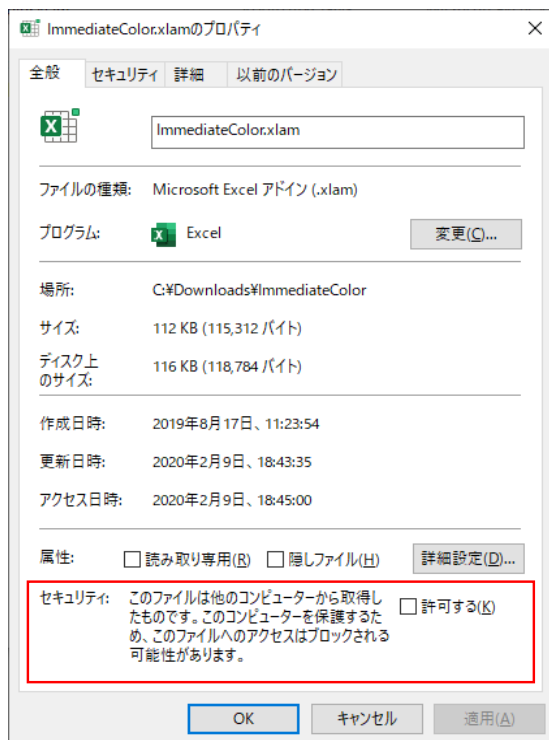
正常にインストールできない場合の対応手順

インターネットからダウンロードしたファイルには「ZoneId」という情報が自動的に付加されます。（Windowsの仕様です）

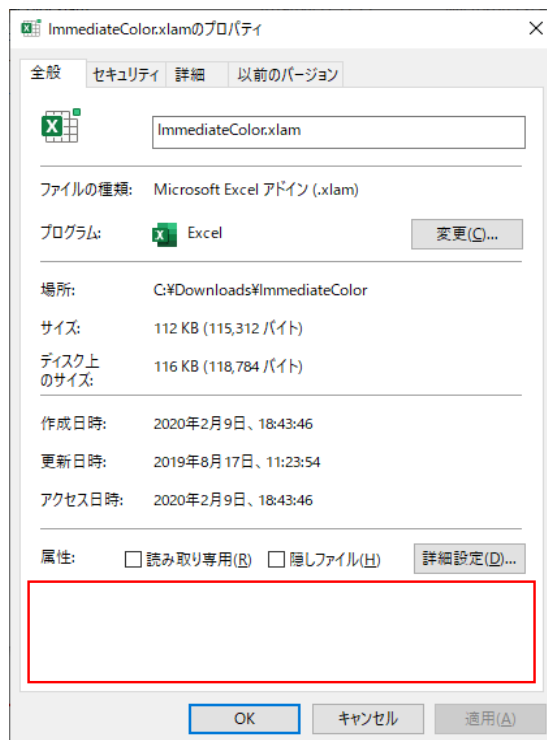
ダウンロードしたzipファイルを展開(解凍)すると中身のファイルにまで「ZoneId」が付加される場合があります。（展開(解凍)ツールによって異なります）

※展開(解凍)したファイルの更新日時が展開(解凍)日時になっている場合、これに該当する可能性が高いです。

ZoneIdが付加されている場合



ZoneIdが付加されていない場合



この「ZoneId」が付加されたExcelファイルをExcelで開くと「保護されたビュー」となり、「編集を有効にする」をクリックするまで編集できません。

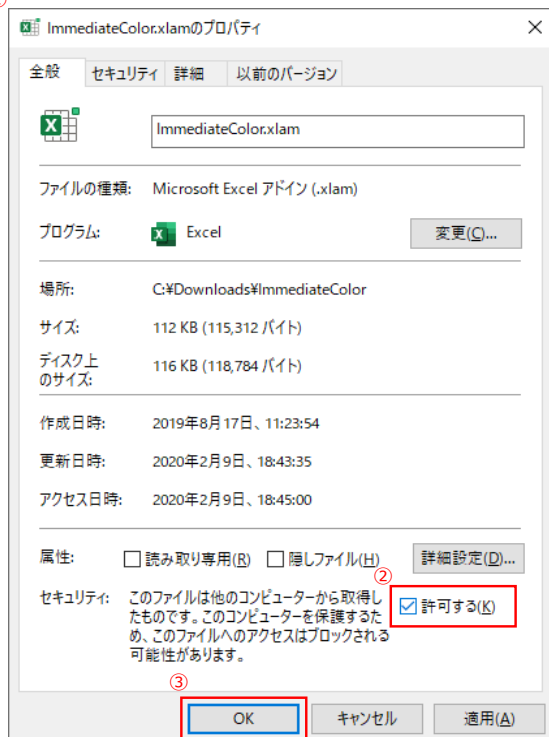
しかし、当ソフトウェアはExcelアドインなので、この操作が行えません。（バックグラウンドで開かれるため）

よって「ZoneId」が付加されたExcelアドインはブロック対象となり、Excel起動時に無効となります。（リボンにタブが表示されない）

これを回避するため、インストール時に以下の操作を行う必要があります。

- ① ImmediateColor.xlamのプロパティを開きます。（エクスプローラーで右クリックして[プロパティ]を選択）
- ② [全般]タブのセキュリティの項目の[許可する]チェックボックスをONにします。
※セキュリティ項目が表示されない場合はこの操作は必要ありません。
- ③ [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

①



【補足】

Windows 7 / 8 / 8.1 では、以下のような表示ですが手順は同じです。

[ブロックの解除]ボタンをクリックした後、

[OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

